



堺フェニックスロータリークラブ

SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー	大澤 徳平
会長	吉川 美幸
幹事	田辺 弘樹
会報委員長	細川 浩二

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号
TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991
例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:ホテル第一堺
<http://www.sakaiphoenix.com>
rotary@sakaiphoenix.com

第674回例会

通巻641号

平成23年7月28日

2011～2012年度No. 4

本日の例会 プログラム (第674回例会)

2011年7月28日(木)

2011-12年度 第4例会 場所 ホテル第一堺

開会点鐘 吉川 美幸

ロータリソング斉唱「手に手つないで」の歌
(ソングリーダー 向井 利之親睦委員長)

会長の時間 片木 修

会長エレクトの時間 吉川美幸

出席報告 (担当 中井 崇嗣副 SAA)

会 食

クラブフォーラム

『インターアクトクラブ』 岡田 正一 新世代奉仕委員長

『インターアクターの活動について』 中井昭宏 新世代奉仕副委員長

『初芝立命館高校のインターアクトクラブの活動について』

初芝立命館高校インターアクトクラブ

幹事報告 (担当 田辺 弘樹 幹事)

SAA 報告 (担当 中井 崇嗣副 SAA)

閉会点鐘 吉川 美幸

☆・本日のお客様 初芝立命館高校インターアクトクラブ☆。・



次回の例会予告 (第675回例会)

2011年8月4日(木)

内部卓話

会員増強維持委員長

「人のつながり」

河野 強 会員

例会終了後 第2回定例理事役員会

次々回の例会予告 (第676回例会)

2011年8月11日(木)

内部卓話

「ガバナー一年度を終えて」

米田 眞理子 会員



2011-12年度 RI会長 カルヤン・バネルジー (Kalyan Banerjee)

国際ロータリーテーマ Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう

博愛を広げるために

2011-12 年度 第3回例会

例会の記録 (第673回例会)

…… 7月 21日……

[唱和]

「Reach Within to Embrace Humanity」

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

ロータリソング斉唱「四つのテストの歌」 (ソングリーダー 細川浩二親睦副委員長)

会長の時間

片木 修 会長



私が毎日新聞の「風知草」の欄に掲載された山田孝男氏執筆の「効率と幸福の間」と題する記事について、この会長の時間でお話させていただいたのは、東日本大震災が起こるなど露知らぬ2月10日のことでした。

それは、どんな仕事であれ安全確保のためには、プロとしての使命感や倫理観でもって、効率偏重を抑えるという姿勢が大事であることを強調されたお話で、併せて経済財政危機と雇用不安の中で経済再生と人間の幸福をどう調和させるか、という問題提起でした。

私たちは職業人として常に安全を心がけなければならないことは勿論ですが、私たちの職業や生活が安全に守られているかどうか、確認しておく必要があるのではないのでしょうか？

アーサー・フレデリック・シェルドンが1929年に出版した「奉仕の原則と保全の法則」について田中毅PDGが邦訳された文書を読ませていただきましたが、これが出版された1929年は世界恐慌の年で、シェルドンがロータリーを退会する前の年であったとのこと。

私がシェルドンについて興味を持ったのは、「ロータリーの友」の1月号に掲載されたシェルドンの墓碑に刻まれた「正方形と円に囲まれた奉仕の正三角形」の写真で、これについて訊ねたり、インターネットでシェルドンについて調べたりしました。

その結果、「ロータリー哲学」と題するシェルドンがエジンバラの国際大会で講演したという一文があることが教えられました。これは職業奉仕に関するシェルドンの考え方が生き生きと伝わってくる明文で、明るい希望に燃えたロータリーの未来を象徴するような明文と受けとめました。これには安全とか、保全といった考え方は伺われませんでした。

1929年の世界恐慌で、シェルドンがどのような損害をこうむったのかは、判りませんが、ロータリー哲学の一文と比べるとシェルドンがものすごく保守的な考え方に変わっているのが明らかにわかります。つまり、保全＝蓄財といった考え方が色濃く出ているように感じたのは私だけでしょうか？

勿論、「He profits most who serves best」ですから当然の報酬として受取った富を保全するのは当然のことですが、改めて、天変地異や業界の変化など予期せぬ事態にも対応できるような体制を整えておく必要性を教えられました。

会長以外の時間 吉川 美幸 会長エレクト



皆さんこんにちは。

今年度になったというのに、いつまでも片木会長に会長をお願いしていてすみません。なんだか、親離れ出来ない子供みたいですが、本当にありがたいと思っています。片木会長、もう少しの間、お願いいたします。

会長エレクトとして言うのも何ですが、先日行われた、地区協議会に参加下さった各委員長の方々に、一言お礼と、その時の話を少しさせて頂きたいと思います。日曜日にもかかわらず、本当に有難うございました。

私は、その日、会長の部と言う所に参加しました。

そこでの一番の議論は、今までに積み立てられていた地区資金の事でした。

本来であれば、今年度になってすぐに、会費請求を、幹事からお出しするべく所ですが、地区の分担金の額が決まっていないことで、遅れています。

米田ガバナ一年度の地区会計の片木会長から、今までの繰越金が、多額に積みあがっている事の説明がありました。その後、冒頭に申し上げた様に、色々な意見がバンバンでていました。中には、今回の東北の震災が起こった時の為においておいたらどうかと言う意見や、繰越金が多いのは、歴代のガバナーたちが、少しでも多く残すために、苦勞してこられたとかもお聞きしました。

結局、地区分担金をどうするという結論には至らず、持ち越される事になりました。

組織の強さを図るとき、数の力は、絶大なものがあります。

しかしながら、数が多ければ多いほど、皆をまとめる事

の大変さをつくづく感じました。

私達、フェニックスロータリーは、少ないながらも、皆でまとまる力で、数に負けないでいきたいと思います。

出席報告 (担当 中井 崇嗣 副SAA)

在籍者	29名	出席免除者	4名
出席者	19名	欠席者	6名
出席率	79.3%	前々前回	97%

卓話の時間 向井 利之 親睦委員長



『コミュニケーション』

皆様 こんにちは。

あまり人前で話す事の無い私にこういう試練？の場を頂いたということは、もっと人前で話すことに慣れなさい！という事と思いますので、この場をお借りして、SAA中井さんに感謝します。

どうも有難うございます。

また、お聞き苦しいところも有るかと思いますが、しばらくの間、お付き合いの程宜しくお願い致します。さて、本日の卓話のテーマは ” コミュニケーション” です。

また、このテーマも私が今期、親睦委員長をおおせ付かったからだだと思いますので、頑張って卓話をさせて頂きたいと思います。

このコミュニケーション！というのは、ものすごく大切だと思えます。やはりコミュニケーション無しでは、物事は、なかなか伝わらないと思えますし、全てにおいても何事もスムーズに事が進まないと思えます。

そこで”コミュニケーション”というのを調べましたら『社会生活を営む人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うこと。

言語・文字・身振りなどを媒介（ばいかい）として行われる。身振りや音声などによる情報伝達。

また人間とは、一人では生きられない動物です。どこに行っても人間と人間のコミュニケーションがあります。たとえ面と向かっていなくても、電話・ネット・手紙・メールによるコミュニケーションは一日の中で数え切れないほど生じています。

そのコミュニケーションのとり方も、今と昔では色々代わってきましたね。まずは、

- ①人と人、”顔！”を見ながらのコミュニケーション。
- ②電話による”声！”でのコミュニケーション。
- ③手紙や文章による”目！”でのコミュニケーション。

昨今では、メールというコミュニケーションにもなっています。

おおまかには、これら3つの方法が有ると思えます。

どれも大切なコミュニケーションの大切なツールの一つだと思えます。まず、

- ①の”顔！”を見てのコミュニケーション。

これは、すっごくシンプルな事だと思えます。



子供と話をする時は、同じ目線でお話しますよね？

子供が上から見上げるようなカタチになると、どうしても威圧感を感じさせてしまいますよね。そこで、ち

よっとしゃがんで、子供と同じ目線で話しかけてみます

よね。また目線だけではなくて、小さな声を出す事も大切ですよね。

コワモテな上に、大きな声

でしゃべられては、さらにこわくなってしまうもの。できるだけ小さな声でしゃべるようにしてみると、子供も警戒心を払いやすくなるでしょう。でも、それが大人となれば、逆ですよ？

大きな声で、話す方がいいですし、小さな声では、相手に物事が伝わりにくいからです！この事は、僕自身にも言えることですから、頑張っていきたいと思えます。

子供の虐待や、言うことの聞かない子供が多いのも、このコミュニケーションが足りないからだと思えます。子供になんでも押し付けてしまう事ばかりでの上から目線！

そら子供も言う事も聞かなくなるし、言う事を聞かそうとして虐待等がおきるのでは？と思えます。

子供の話になると熱くなって、虐待する親や大人に怒りを覚えて、横道反れますのでこの辺で！

では、次の②の電話による”声！”でのコミュニケーション。

電話は遠く離れていても、側に居るかのようにコミュニケーションが取れる方法だと思えます。

電話も今と昔ではかなり進化しました。

固定電話から、宅内のコードレスホン、で、外でも繋がる携帯電話、これも昔は大きい物でしたけれど、今はこの小さい形になりました。持ち運びの便利な物になりました。

そうそう、今ではテレビ電話！というものがあります。でも、テレビ電話は電話のメリットである『身だしなみや服装に構わずに気軽に話せる点』を無くしてしまうことや、通信料金が高いこともあってそれほど一般化はまだしていません。



『電話』の長所としては、”自分のメッセージ”が相手に確実に伝わったという事をその場ですぐに確認できる事であり、重要な用件に関して、相手の意志や判断を直接確認したい場合には『電話』のほうが便利です。

やはり声の聞ける事は良いものでよ。

最後の

③手紙や文章、メールによる”目！”でのコミュニケーション。

手紙などは、文章は決して長くなる必要はありません。

字も汚くてもいいんです。「手書き」がおすすめです。

生々しい手紙の文字を見ると温かみがありますし感情も

伝わってきますしね、これも一味違った感覚になります。

しかし手紙は、出す側の者は手紙が相手に届くまでにどれくらいの時間がかかるかなど、それほど気にしていないように思う。普通、手紙には急を要する用事などを書く

ことはないし、もし急な用事があるのなら手紙ではなく、電話で済ませようと思うものである。あえて手紙を送ると

いうことは、急な用事があるからではなく、むしろ急ではない何らかのメッセージを伝えたいからなのではないでしょうか？

また『電話』よりも『電子メール』によるコミュニケーションが活発化している第一の理由は、電子メールには『相手の時間』をリアルタイムに束縛する特性がないからであり、『極端に遅くならない限り、いつ返信しても良い』という気軽さがあるからです。

現代においては、もっともな手段と方法になっています。それらの全ての事から、言える事は、昔から、色々な手段と方法がある中で、これらのツールを上手く活用して

コミュニケーションを取ってコミュニケーション能力を高めていきたいと思いました。

私自身は、顔を付き合わせ、目と目を見ながら、のコミュニケーションの方が好きですし、最近はこのロータリーに入会させて頂いてからはこの、メールや文章の打つ

ことが多くなってきたので、だいぶと慣れてきました。でもその反面で、FAXの送信用紙もこのように打っているので、元から字の汚いのに、なおさら汚くなってしまったのはこれまたどうかな～ってな感じです。

最後になりましたが、コミュニケーション能力は、

- ・ アクション(前に踏み出す力)
- ・ 他人に働きかけ巻き込む力や主体性
- ・ チームワーク(チームで働く力)
- ・ 発信力や傾聴力
- ・ シンキング(考え抜く力)

の3つで表わされるそうです。

私自身まだまだ出来ていない項目ばかりですが、読書や周りの人の行動などから、どんどん吸収して、コミュニケーション能力を上げていきたいと思えます。

最後まで、ご清聴頂き有難うございました。

幹事報告

田辺弘樹 幹事

本日の配布物

ロータリーの友7月号。回覧でガバナー月信、これは僕が作りました。

例会変更

堺東RC 8月11日→休会

堺泉ヶ丘 8月11日→休会

以上

委員会報告

雑誌広報委員会 (担当 委員長 上田俊夫)

本日遅ればせながら、「ロータリーの友」7月号を配布しました。RIではロータリー地域雑誌の定義として印刷媒体と電子媒体の両方をもって地域雑誌であると規定しています。その内の印刷媒体が月刊誌の「ロータリーの友」であり、電子媒体がホームページの「ロータリージャパン」です。

「ロータリーの友」が発行されるまでには

3カ月を要しますので、速報性の点では「ロータリージャパン」のホームページが断然早いので両方をうまく活用してください。

「ロータリーの友」誌についてはRIからみどころ、読みどころとして指定記事が示されておりますのでその案内を「ロータリーの友」誌に添付しますのでこの辺を重点的に読んでいただきたいと思います。

尚、会員さんからの投稿記事は適宜チェックして、掲載されればその都度お知らせいたします。

にこにこ報告 (担当 河野 強副 SAA)



コミュニケーションという言葉にぴったりの向井さんのお話、ありがとうございました。汗拭き拭き一所懸命さが出ていて良かったです。

吉川 美幸会長エレクト



向井会員、本日の卓話楽しみにしています。

石田 得子会員



向井さん！卓話ファイトッ！楽しみにしています。

河野 強会員



向井様、本日は卓話ありがとうございます。

辻野 美智子会員



私事ですが、1年半ぶりに一時帰国した孫と会いました。会話の中で孫の成長の著しさを感じました。

三村 文男会員



新世代奉仕委員会 中井 昭宏副委員長

7月24日

インターアクト年次総会に出席致しました。

(出席者 米田・吉川・岡田・中井)

インターアクターの2010-2011年度の活動報告がありました。たくさんの奉仕活動が

されている様子が、よくわかりました。また三者交流会

(インターアクター・ローターアクターロータリアン)

が開催され、インターアクターの子たちが、目標をもち日々活動していることが理解できました。

堺13RC共同社会奉仕活動

7月26日 阪堺電気軌道広報啓発出発式

阪堺電気軌道の車両に飲酒運転撲滅及び防犯を呼びかける大型ステッカーを掲出しました。

(出席者 米田・片木・上田・京谷)

